

# 就労支援の取組みをがん患者 に伝える仕組みについて

平成30年8月7日

熊本県健康づくり推進課

# がん患者の就労状況

第3次熊本県がん対策推進計画抜粋

- 本県のがん患者の約3割は、就労支援が可能な年齢であり、がんや難病に罹患している（した）従業員は、33.1%。
- 平成27年の厚生労働省研究班による調査では、がんと診断され、退職した患者のうち、診断がなされてから最初の治療が開始されるまでに退職した人が4割を超えている。
- 退職理由として、がん治療への漠然とした不安が上位に挙がっている。このため、がん患者が診断時から正しい情報提供や相談支援を受けることができるようにするなど、がん患者の離職防止や再就職のための就労支援の充実が求められている。

# 本会議の設置と「がん患者向け就労支援リーフレット」の作成

- 平成29年2月に関係団体の顔の見える関係を構築するとともに、がん患者等の就労支援対策を推進することを目的として、「熊本県がん患者等就労支援ネットワーク会議」を設置し、年1回程度開催。
- 昨年度平成29年8月28日開催の本会議において、「がん患者向け就労支援リーフレット」を作成。1万部を印刷し、各関係団体に配布。
- 表面に「がんと診断されても、すぐに仕事を辞めないで」というメッセージと行動手順を記載。裏面には、がん相談支援センターや就労支援に関わる相談機関、がんサロン等の連絡先を記載。

# 平成 29 年度主な配布先

- がん診療連携拠点病院（19 か所）  
（熊本市民病院を含む）、がんサロン
- 県医師会、県薬剤師会、健診機関（12 カ所）
- 公共職業安定所（ハローワーク）  
熊本県産業保健総合支援センター  
地域産業保健センター
- 県経営者協会、県社労士会、商工会議所  
詳細は参考資料 5

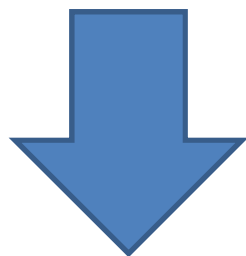
# 現状・課題

- がん診療連携拠点病院では、がん相談支援センターや外来待合室にラック等を用いて、リーフレットを設置しているが、がん患者の目に留まらない限り、手にとってもらえない。
- がん患者から就労についての相談を受けても、医療従事者が就労支援の取組みについて知らないため、がん相談支援センターや就労支援の窓口へ繋がっていない。

# 現状・課題

- がんサロンでの配布について、ほとんどのがんサロンが平日の日中に開催されているため、参加者には高齢者が多く、就労年齢のがん患者へリーフレットを届けることができない。
- 県内の調剤薬局には、情報提供でリーフレットを配布したのみで、がん患者に就労支援の取組みが伝わるまでに至っているかは不明。
- リーフレットの内容について、情報が多すぎる。また、在職中、離職中など、状況に応じてどこに相談すればいいのかわかりづらい。

# 現状・課題を踏まえると・・・



- 就労年齢のがん患者に就労支援の取組みを伝える仕組みの整備が必要。
- リーフレットの内容について再検討が必要。
- 医療従事者に対する就労支援の取組み（がん相談支援センターの存在等）の周知が必要。 議題2で取り扱う

# 対応案

今年度はがん患者に効率的に就労支援の取組みを伝えるために、がん患者に接触する機会の多い場所に優先的にリーフレットやポスターを配付する。

1. がん診療連携拠点病院の医師または看護師等の医療従事者に、患者が、がんと診断された際にリーフレットを手渡すよう依頼。
2. 新たにポスターを作成し、がん診療連携拠点病院、県内薬局（約800カ所）に配付し、掲示を依頼。
3. リーフレットの内容について再検討する。
4. 患者向けの県ホームページを作成。掲載内容はリーフレットの内容を検討。



## 資料 2

医療従事者、経営者及び  
人事担当者等に対する  
普及啓発について

# 就労支援に関する新たな 取組みについて

- 1 . 「両立支援コーディネーター」の養成
- 2 . 治療と仕事の両立支援に関する診療報酬の新設

## 「両立支援コーディネーター」の養成 ②

平成30年3月30日付け基安発0303第1号働き方改革実行計画を踏まえた両立支援コーディネーターの養成について

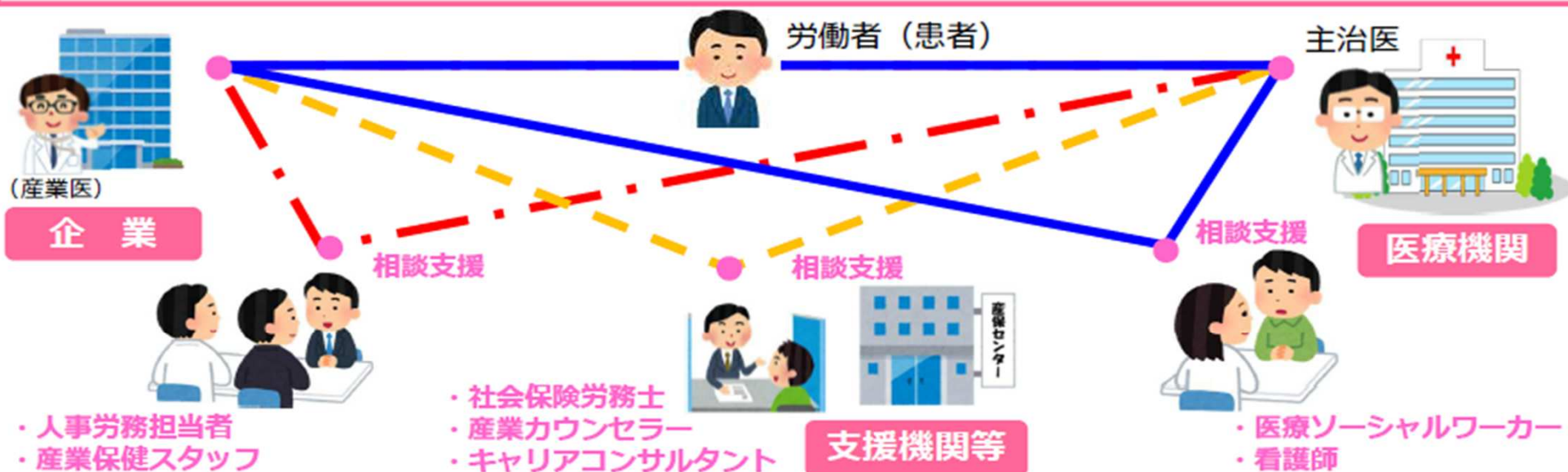
### 両立支援コーディネーター

**担い手：** 企業の人事労務担当者や産業保健スタッフ・医療機関の医療従事者・支援機関等

**機能：** 支援対象者に寄り添いながら継続的な相談支援等を行うこと

**役割：** それぞれの立場における支援の実施 及び 関係者との連携・調整

支援対象者の同意を前提として、治療に関する情報や業務に関する情報等を得て、支援対象者の治療や業務の状況に応じた必要な配慮等の情報を整理して本人に提供する 等



※関係者との調整を行うに当たっては、両立支援コーディネーターは、事業場に対して支援対象者の代理で交渉行為を行うものではないので、留意する必要がある。

## 治療と仕事の両立支援に関する診療報酬の新設

平成30年度診療報酬改定において、治療と仕事の両立支援に関する診療報酬が新設された。

### <名称>

療養・就労両立支援指導料

### <点数>

1000点 (10000円)

(相談支援体制が整備されている保険医療機関の場合、500点(5000円)が上乘せされる。)

### <ポイント>

- 対象疾患：がんに限る。
- 対象患者：産業医が選任されている事業場で就労している労働者に限る。
- 算定要件：
  - ・主治医(保険医)が、産業医に対して治療と仕事の両立に関する意見書を作成した場合が対象となる。
  - ・産業医は、主治医(保険医)に対して治療と仕事の両立に関して必要な配慮等について文書で助言する。
  - ・主治医(保険医)は、産業医の助言を踏まえ、治療計画の再評価を行う。

### ※診療報酬が保険医療機関に支払われる条件：

- ・保険医が保険医療機関において健康保険法、医師法、医療法、薬事法等の各種関係法令の規定を遵守していること
- ・「保険医療機関及び保険医療養担当規則」(療養担当規則)の規定を遵守していること
- ・医学的に妥当適切な診療を行い、診療報酬点数表に定められたとおりに請求を行っていること

※診療報酬が支払われる診療(保険診療)とは、健康保険法等の医療保険各法に基づく、保険者と保険医療機関との間の公法上の契約である。



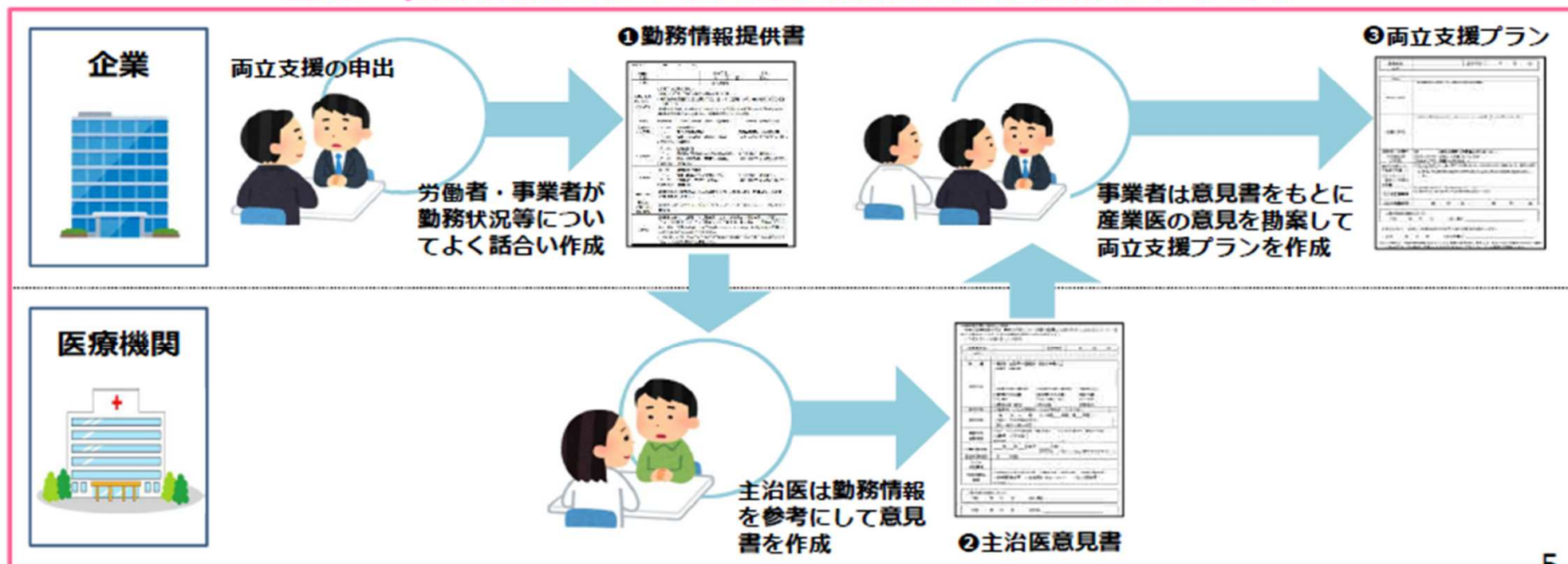
## 企業・医療機関連携マニュアル

ガイドラインに基づき、企業と医療機関が連携することで、労働者本人の症状や業務内容に応じた、より適切な両立支援の実施が可能となる。

企業・医療機関連携マニュアルは、企業と医療機関が情報のやりとりを行う際の参考となるよう、ガイドライン掲載の様式例に沿って、その作成のポイントを示すもの。

※ 具体的な事例を通じた記載例（事例編）として、がんの事例（4例）を作成。

### 企業・医療機関における両立支援のための情報のやりとり



# 課題

- 医療従事者が就労支援の取組みについて知らない。（がん相談支援センター、両立支援コーディネーター、仕事と治療の両立支援に関する診療報酬の改定等）
- 経営者、人事担当者が従業員ががんに罹った際の対応方法を知らない。
- 産業医、医師が企業・医療機関の連携、情報共有の仕組みについて知らないため、活用されていない。

# 医療従事者に対する普及啓発についての 検討事項

1. 院内で行うカンファレンスや委員会を通して、就労支援の取組みを周知する。（がん相談支援センター、両立支援コーディネーター、診療報酬の改定、企業と医療機関の連携等）

既に取り組んでいる医療機関もあるが、  
更に効果を高めるためにはどうすればよいか。

2. 院内に限らず、医療機関の従事者が集まる講習会や説明会において、がん患者の就労支援の取組みを紹介する。

具体的にはこういった機会があるのか。

# 平成29年度経営者、事業主に向けた 研修会等の取組み

## 産業保健研修会

日時	会場	テーマ	参加者人数	
5月23日	熊本産保センター	治療と職業生活のガイドライン	17	
7月4日	熊本産保センター	治療と職業生活のガイドライン	11	
9月14日	熊本産保センター	治療と職業生活のガイドライン	15	
9月20日	熊本産保センター	治療と就労の両立支援 がん等をもつ労働者と職場へのより良い支援のために	4	実習形式
11月2日	熊本産保センター	治療と就労の両立支援 がん等をもつ労働者と職場へのより良い支援のために	4	実習形式

## セミナー

日時	会場	テーマ	参加者人数	共催
12月10日	やつしるハーモニーホール	病気になっても働き続けることができる！治療と仕事の両立支援セミナー	89	熊本労災病院

## 熊本県労働衛生管理研究会

日時	会場	テーマ	参加者人数	共催
11月22日	熊本県労働基準協会	治療と仕事の両立支援について	51	熊本県労働衛生管理研究会

## 衛生管理講習会

日時	会場	テーマ	参加者人数	共催
9月6日	大津生涯学習センター	事業場における治療と職業生活の両立支援	250	熊本県労働基準協会菊池支部、阿蘇支部
9月13日	グランメッセ熊本	治療と職業生活の両立支援について	500	熊本県労働基準協会熊本支部
9月13日	やつしるハーモニーホール	事業場における治療と職業生活の両立支援	300	熊本県労働基準協会八代支部
9月14日	玉名市民会館	治療と職業生活の両立支援について	200	熊本県労働基準協会玉名支部
9月14日	グランメッセ熊本	治療と職業生活の両立支援について	16	熊本労働基準監督署
9月15日	グランメッセ熊本	治療と職業生活の両立支援について	31	熊本労働基準監督署
9月28日	あさぎり町須恵文化ホール	事業場における治療と職業生活の両立支援	130	熊本県労働基準協会人吉支部

## 安全管理講習会

日時	会場	テーマ	参加者人数	共催
6月15日	グランメッセ熊本	治療と職業生活の両立支援について	430	熊本県労働基準協会熊本支部

## 事業場での個別訪問での啓発教育

日時	訪問事業場	テーマ	参加者人数	
9月29日	介護施設	治療と職業生活の両立支援について	1	
10月4日	建設業	治療と職業生活の両立支援について	40	
10月26日	サービス業	治療と職業生活の両立支援について	1	
12月1日	飲食・宿泊施設	治療と職業生活の両立支援について	4	
1月19日	医療・福祉施設	治療と職業生活の両立支援について	25	
2月26日	運送業	がんで休職された方への対応について	2	
2月28日	障害者施設事業場	事業場における治療と職業生活の両立支援について	4	
3月5日	医療機関	事業場における治療と職業生活の両立支援について	53	



# 経営者や人事担当者に対する 普及啓発についての検討事項

1.既に経営者等に対する研修会や講習会が多数開催されているため、内容について検討する。  
講義形式以外の開催方法はこういったものがよいか。

2.就労支援の研修会や講習会に参加しない経営者等に周知するため、就労支援に限らない経営者等が集まる場において、両立支援の取り組みを周知する。  
具体的にこういった機会があるのか。

# その他情報提供

# 熊本大学医学部附属病院における ハローワーク就労支援

熊本大学医学部附属病院 がん相談支援センター

平成27年12月14日より、ハローワーク熊本との連携  
により、長期療養者就労相談を開始  
第2・4水曜日 11:00~16:00 (原則予約制)  
一人1時間予定で 一日4枠

平成30年3月31日現在で、平均2.2人/日の利用者あり

	男性	女性	合計
がん	24	21	45
非がん	11	11	22
合計	35	32	67

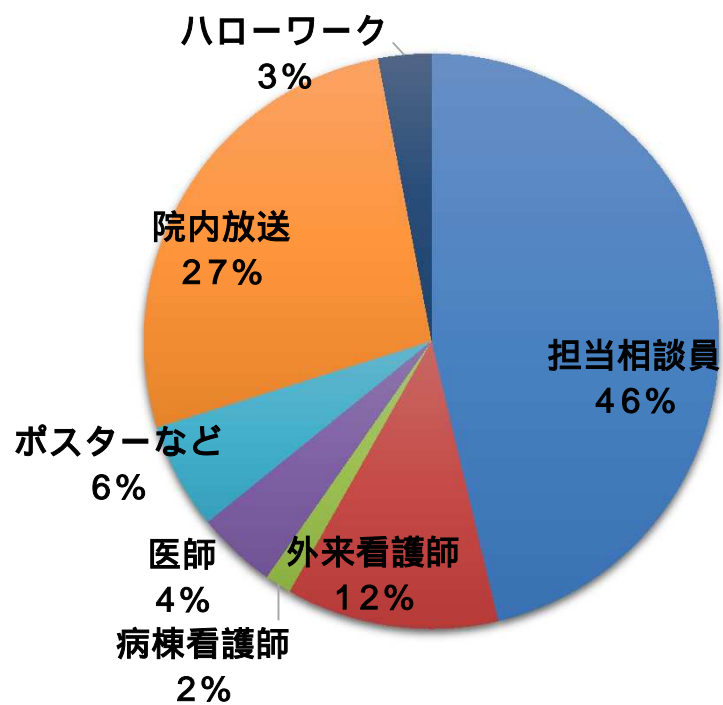
(H27/12/14~H30/3/31利用者)

2017年度がん相談支援センターへの全相談件数  
2213件の内、  
仕事に関する相談は128件  
(医療費の相談も含めると287件  
全体の13%程度)

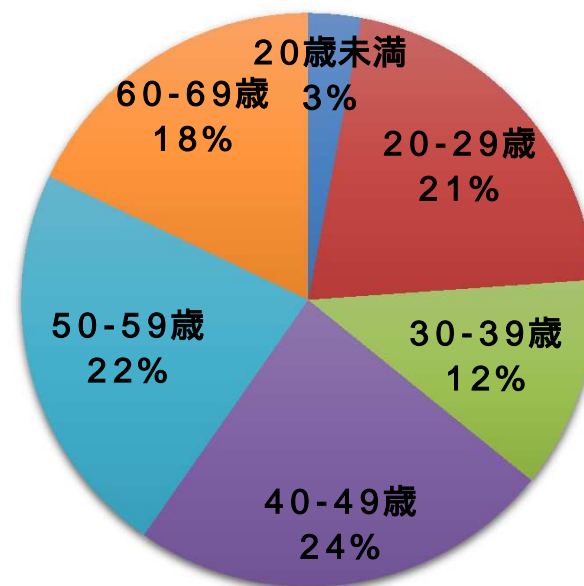
## 【主な相談内容】

- ・治療が一段落したので、仕事を探したい
- ・体力に自信がないので、以前と同じような仕事ができない
- ・治療や生活にお金がかかるので治療しながら働きたい
- ・職場復帰に向け不安がある
- ・就職活動で、企業に病気のことを伝えるべき？
- ・就職したのに、再発の疑いが・・・どうしたらいい？
- ・家にじっとしては気が滅入る、社会と繋がってほしい

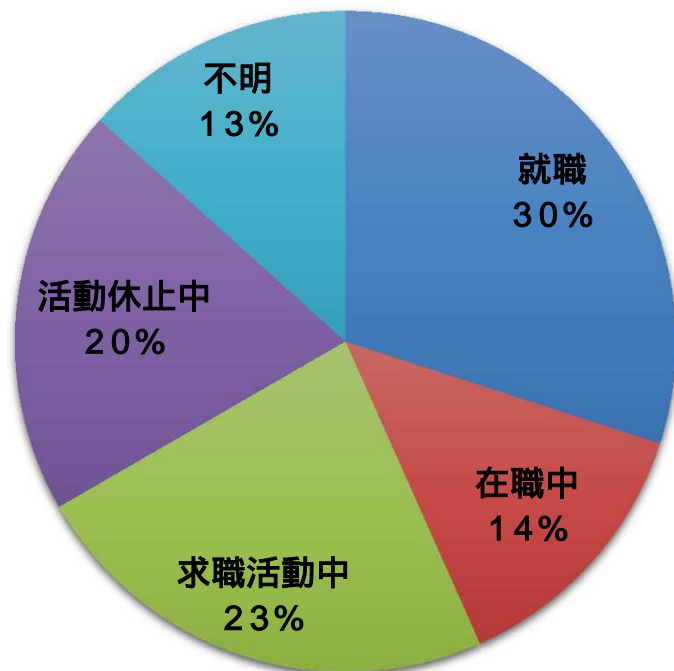
## 相談経路



## 年齢別



## 【新規相談者相談後の状況 H30/3/31現在】



新規相談者60名中、  
18名が新たに就職  
8名が在職中（休職中含む）

## 【支援から見えてきたこと】

- ・ 仕事と治療の両立について、医療という専門性や社会福祉資源の複雑さもあり、患者や家族だけでは対処しきれないことも多い
- ・ AYA世代の就労相談も増えてきたが、就労経験に乏しく、やりたいことや何ができるか漠然としている

就労支援ナビゲーターや相談員の介入により、具体的で継続的なサポートが必要

## 【今後の課題】

- ・ 院内（スタッフに向けて）の広報周知不足  
これまで、院内にて広報活動を行ってきたが、一日平均相談件数が2.2人と、利用者は少ない

現在、病棟カンファレンス・外来会議を利用し本事業の趣旨説明や現状報告を行っているリーフレットやポスター掲示方法について検討中


## 長期療養者就職支援事業 実施状況

ハローワーク熊本

	平成29年度	平成30年度 第1・四半期 (4月～6月)
新規対象者(求職者)	68	32
事業所への紹介件数	52	21
就職件数	37	11

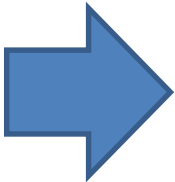
### 新規対象者の方の疾患別・就職状況

	平成29年度		平成30年度 第1・四半期	
	新規対象者	就職件数	新規対象者	就職件数
がん	54	28	23	9
肝炎等の肝疾患	2	2	1	0
糖尿病	7	5	5	2
その他	5	2	3	0
	難病3・脳梗塞2	難病1・HIV1	HIV1・大動脈乖離1・リウマチ1	

 がん患者に限ってみると、治療の関係で、就職活動を途中で断念する患者も多く、求職者に対して就職件数は少ない。

## 新規対象者の方の年齢・性別

	平成29年度			平成30年度 第1・四半期 (4月～6月)		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
新規対象者 計	68	26	42	32	15	17
20代未満	1	0	1	0	0	0
20歳～30歳未満	6	5	1	3	1	2
30歳～40歳未満	6	2	4	1	0	1
40歳～50歳未満	20	7	13	11	5	6
50歳～60歳未満	23	5	18	12	5	7
60歳以上	12	7	5	5	4	1

- 
- 年齢別にみると、20代から60代まで、幅広く求職者がおり、特に40代、50代が多い。
  - 男女別に見ると、平成29年度は女性の方が求職者は多い。

- 「治療と仕事の両立支援セミナー」  
日時：平成30年11月5日（月）  
場所：くまもと県民交流館パレア 10階ホール  
主催：熊本労働局  
熊本産業保健総合支援センター  
対象者：経営者、事業主
- 「県民公開講座」  
日時：平成30年12月9日（日）  
13：00～15：00  
場所：くまもと県民交流館パレア 10階ホール  
主催：熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会  
対象者：一般県民  
労務関係の方からの講演を検討。



# がん体験手記集

- がんサロンネットワーク熊本において、「正力厚生会」の助成金を受け、制作中。
- 配布先としては、がんサロン、がん相談支援センター、小中高校（がん教育の資料として）がん啓発イベント等を予定。